

【児童労働 基礎情報】 世界の子ども9人に1人が児童労働。

○児童労働ってなに？

児童労働とは、義務教育を妨げる労働や、法律で禁止されている18歳未満の危険・有害な労働を指します。今、世界の子ども（5歳～17歳）の9人に1人、1億6,800万人が、児童労働をしています。（2013年国際労働機関発表）

例えば、農園で農薬を使った作業や鉱山や採石場、花火工場など危険な場所での労働、危険な機械を使う工場での長時間労働などがあります。また、労働に見合った賃金が得られず、借金を返すため奴隷のように働き続けることもあります。

児童労働は国際条約（※）で禁止され、特に18歳未満の子どもの強制労働や債務労働、人身売買や子ども兵士、売買春といった犯罪行為など、最も危険で有害な労働を「最悪の形態の児童労働」として、すぐになくすことを求めています。

○「児童労働」はアルバイトや家の手伝いと区別されています



児童労働 = Child labour

学校で勉強する機会をさまたげる労働
心や身体の健康的な成長をさまたげる労働
仕事に見合った対価が得られない労働



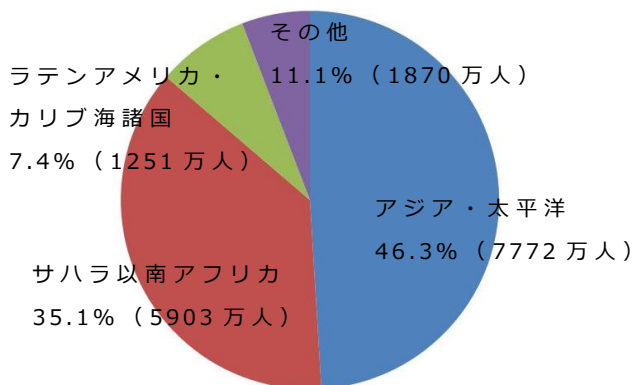
子どもの仕事 = Child Work

年齢や成長に見合った、
子どもの健康的な成長を助ける仕事
責任感や技能を身につけられる仕事

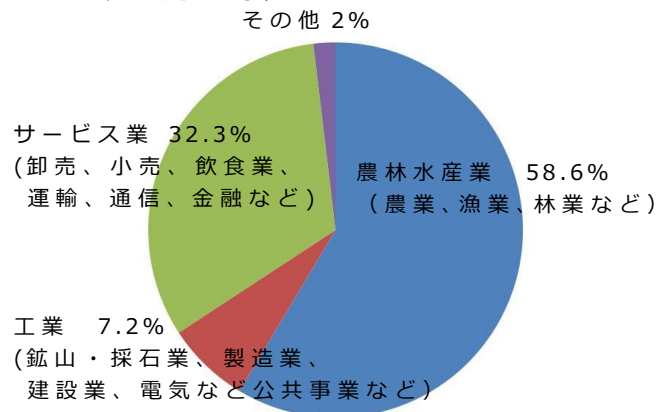
○地域・産業別の児童労働者数

人口の多い「アジア・太平洋」がもっとも多く、農業や漁業など「農林水産業」の児童労働が大半をしめています。

●地域別児童労働（5～17歳）



●産業別児童労働



（データ：ILO(2013) Marking Progress against Child Labour）

（※国際条約）

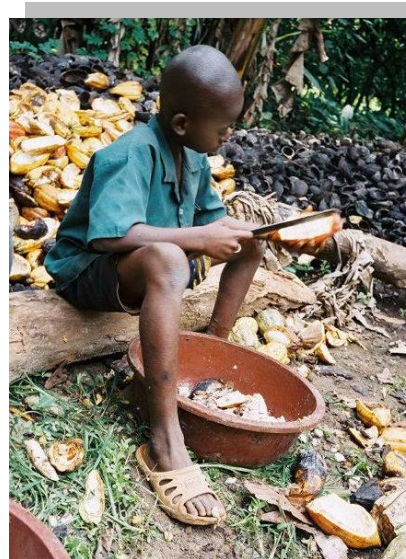
「最低年齢条約」(ILO 第138号条約)就業が認められる年齢は義務教育修了年齢15歳とする条約

「最悪の形態の児童労働条約」(ILO 第182号条約)最も危険で有害な労働の即時撤廃を求める条約

○児童労働によって作られているモノ

手縫いのサッカーボールの8割がインド・パキスタンで作られており、その生産に多くの子どもたちが関わっています。針で指を刺したり、暗い部屋で一日中同じ姿勢で作業を続けるので目を悪くしたり、背が伸びない子もいました。一日に縫えるボールはどんなにがんばっても2個か3個。ボール一つあたり、15円～30円しかもらえません。

チョコレートの原料、カカオ豆の収穫作業にも子どもたちが関わっています。ナタを使って草を刈ったり実を落としたり、20kgにもなるカゴいっぱい積んだカカオ豆を運んだりします。



○「児童労働」とわたしたちの生活は、つながっています。

サッカーボールやカカオ豆だけでなく、コーヒーやバナナ、Tシャツなどの原料となる綿（コットン）、携帯電話の基盤に使われる希少金属（レアメタル）や指輪や宝石になるダイヤモンドなど、わたしたちの回りには、児童労働に関係しているモノがたくさんあります。児童労働はわたしたちの暮らしと無関係ではありません。だからこそ、わたしたちにできることがあるはずです。この問題を多くの人に伝えたり、大人の正当な労働によって作られたと保証された「フェアトレード」の商品を買ったり、児童労働によって作られていない商品が欲しいと企業に訴えることもできます。わたしたちにできることを、ぜひ考えてみてください。

○もっと知りたい人へ ～本の紹介～

『わたし8歳、カカオ畑で働きつづけて。 —児童労働者とよばれる2億1800万人の子どもたち』	特定非営利活動法人 ACE 岩附由香、白木朋子、 水寄僚子 著	2007年
『フィリピンの少女ピア：性虐待をのりこえた軌跡』	中島早苗、野川未央 著	2006年
『ぼくは13歳 職業、兵士。』	鬼丸昌也、小川真吾 著	2005年
『インドの債務児童労働 見えない鎖につながれて』	ヒューマンライツウォッチ 著 甲斐田万智子、岩附由香 訳	2004年
『僕たちは、自由だ！ —クレイグ少年の南アジア50日間の冒険記』	クレイグ・キールバーガー 著、 佐光紀子 訳	2000年

■特定非営利活動法人 ACE(エース)
〒110-0015 東京都台東区東上野 1-6-4 あつきビル3F
Tel: 03-3835-7555 (受付時間: 平日 10:00~18:00)
Fax: 03-3835-7601 www.acejapan.org

ACE
—あたりまえを世界の子どもに—